

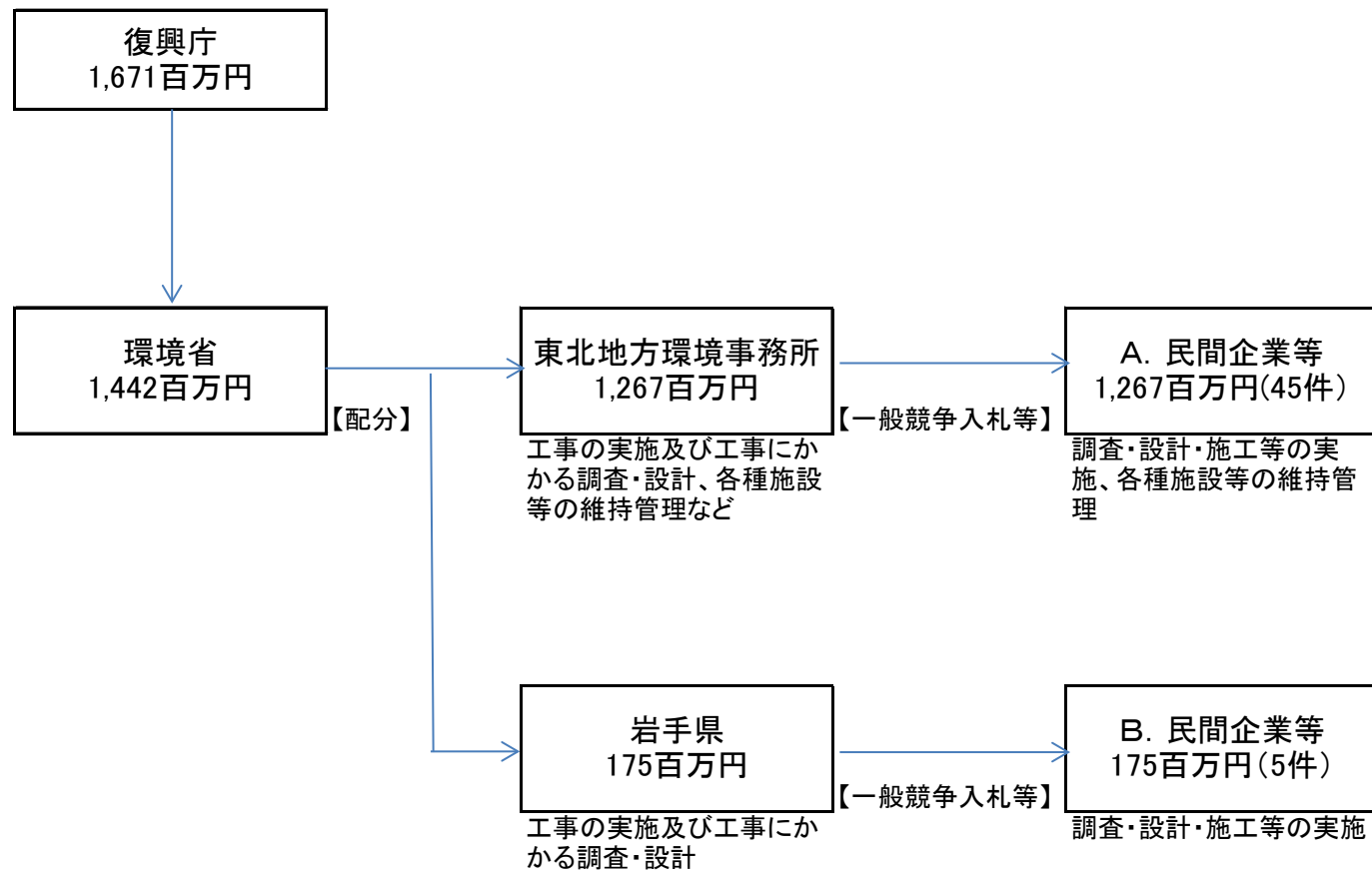
平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	三陸復興国立公園等復興事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成32年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・自然公園法第10条第1項		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性国家戦略2012-2020(平成24年9月28日閣議決定) ・復興への提言(平成23年6月25日) ・東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日閣議決定) ・岩手県東日本大震災津波復興計画(平成23年8月11日) ・宮城県震災復興計画(平成23年10月19日) ・三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン(平成24年5月7日) 					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、陸中海岸国立公園の公園利用施設の多くが甚大な被害を受けたが、公園利用施設の復旧は、観光産業をはじめとした地元雇用の創出等、地域再建にも寄与するものであり、東北地方の復興のため公園利用施設の早期復旧が被災自治体等より強く求められているところ。そのため、陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等、被災した既存利用施設の復旧整備を引き続き推進するとともに、三陸復興国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点における施設の整備、並びに国指定鳥獣保護区における保全事業を実施する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全・安心の観点から津波対策等の防災機能を強化しつつ、国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点において、被災した既存利用施設の復旧整備や、観光地の再生に資する復興のための整備を行うとともに、国指定鳥獣保護区における保全事業を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	1,100	2,094	1,807	2,101		
		補正予算	600	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	618	1,041	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 513	▲ 618	▲ 1,041	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		87	482	1,671	2,849	2,101		
	執行額		84	353	1,442	-	-		
執行率(%)		96.6%	73.2%	86.3%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	成果指標について、本事業は、地域の観光産業の復興に資することから関係するデータとして三陸復興国立公園の利用者数があるが、本事業は対象地が公園内の一部の区域に限られる上、安全かつ適切な公園利用の推進や自然環境の保全という面も重視した事業であり、公園全域の利用者数の多寡で成果を表すことは適当でなく、目標値は設定出来ない。			成果実績	千人	458	1,432	集計中	
				目標値	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	三陸復興国立公園利用拠点及び公園外利用拠点の整備区域数			活動実績	箇所数	3	3	3	-
				当初見込み	箇所数	3	3	3	6
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y X=執行額 Y=成果実績 「利用者1人あたりに係る事業費」 (成果実績=「三陸復興国立公園」利用者数実績)			単位当たりコスト	円	183.4	246.5	集計中	-
				計算式	百万円/千人	84/458	353/1,432	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	国立公園等整備費	1,704	2,000	平成27年度は集中復興期間の最終年度として、三陸復興国立公園の集団施設地区や東北太平洋岸自然歩道の利用拠点における施設の整備を予定どおり進めるため。					
	国立公園等維持管理費	103	101						
計	1,807	2,101							

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国立公園では、優れた自然の風景地の保護とその適正な利用が図られるよう努めることが国の責務であり、国立公園の保護又は利用のための施設を整備・管理する公園事業は、自然公園法上、国が執行することが原則となっている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあつては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定しているため、競争性を確保した上で適切な支出先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	施設の復旧について、可能となったところから計画的に実施している。完成した施設は、供用を開始し、観光客等により利用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検 ・ 改善 結果	点検結果	三陸地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園の利用を早期に回復するため、主要な利用拠点等における優先度の高い事業を着実に推進している。事業の実施にあたっては、工事コスト縮減に取り組んでいる。			
	改善の方向性	当該事業において、三陸地域の重要な観光資源である陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等の施設を復旧することができたが、三陸復興国立公園への編入地域や東北太平洋岸自然歩道については、今後も整備が必要である。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	地域再建にも寄与する公園利用施設等の復旧整備に向け、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・「予算額・執行額」の平成23年度部分については、環境省が計上した同様の事業(環境省平成24年行政事業レビューシートNo247)の予算額等を参考記載しているもの。 ・同事業における平成24年度以降への繰越し額 平成24年度 418百万円 平成25年度 95百万円 ・平成24年度成果実績欄に記入した利用者数は、現時点における速報値とする。 					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	134	平成25年	190

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.小岩井農牧(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	中の浜広場再整備工事	241			
計		241	計		0
B.丸正建設(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	碁石海岸園地再整備工事	166			
計		166	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	小岩井農牧(株)	中の浜広場再整備工事	241	2	97.6%
2	菱和建设(株)	浄土ヶ浜集団施設地区海岸歩道等復旧工事	209	1	99.96%
3	(株)住建トレーディング	基石海岸集団施設地区管理棟その他新築工事	187	1	99.8%
4	(株)菊地建設	宮古姉ヶ崎集団施設地区野営場整備工事	140	3	95.8%
5	寺下建設(株)	種差海岸インフォメーションセンター新築工事	123	5	87.9%
6	個人	種差海岸インフォメーションセンター整備工事に必要な土地等の取得等に伴う損失補償	47	随意契約	—
7	東日本建設(株)	種差海岸インフォメーションセンター駐車場整備工事	43	2	93.1%
8	(株)乃村工藝社	種差海岸インフォメーションセンター展示工事	37	1	97.1%
9	やましち建設(株)	平成25年度気仙沼大島集団施設地区田中浜敷地整正工事	35	随意契約	82.1%
10	(株)プレック研究所	南三陸金華山地区牡鹿半島周辺整備基本計画作成等業務	20	5	48.8%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	丸正建設(株)	基石海岸園地再整備工事	166	1	88.9%
2	熊谷建設(株)	北山崎線歩道復旧工事	3	1	99.5%
3	サンエスコンサルタント(株)	東北太平洋岸自然保護宇設計業務	3	3	92.3%
4	(株)エスエステック	東北太平洋岸自然歩道工事	2	1	91.1%
5	中央コンサルタンツ(株)	基石海岸園地野営場設計修正業務	1	1	98.9%